

経済日誌 (1.1~1.31)

国内外

1.7◇サンマ水揚げ、過去最低

全国さんま棒受網漁業協同組合（東京）は、2019年の全国のサンマ水揚げ量が前年比66%減の4万517トンだったと発表した。記録が残る1960年以降では、1969年の約5万2,000トンを下回り、50年ぶりに過去最低を更新した。近年続く不漁が一段と深刻化した。

1.16◇トヨタ、「空飛ぶ車」へ参入

トヨタ自動車は、「空飛ぶ車」の実現に向け、機体開発を手掛ける米ベンチャー企業「Joby Aviation(ジョビー・アビエーション)」に3億9,400万ドル（約430億円）を出資すると発表した。今後、需要の高まりが見込まれる空の移動事業に本格的に参入する。

1.20◇すかいらーく、24時間営業全廃

ファミリーレストラン最大手のすかいらーくホールディングス（HD）は、運営する「ガスト」、「ジョナサン」、「バーミヤン」の155店舗で実施している24時間営業を、4月までにすべて廃止すると発表した。「脱24時間」の動きが、外食やコンビニで強まっている。

1.28◇ホンダ、中古車定額制

ホンダは、定額制で中古車を利用できるサービス「ホンダ マンスリーオーナー」を始めた。トヨタ自動車系企業が新車を対象に始めた定額サービス「KINTO(キント)」が伸び悩む中、中古車の在庫を活用する。利用期間は最短1か月から最長11か月までで、月単位で利用できる。

県内

1.3◇桃豚、シンガポールへ初輸出

J Aグループの畜産加工業、ミートランド（鹿角市）は、ポークランドグループ（小坂町）が生産するブランド豚「桃豚」をシンガポールへ初輸出した。2017年に輸出を始めた香港向けに続く海外進出の第2弾。百貨店やレストラン向けに年間約6トンを出荷する目標にしている。

1.23◇路線バスにICカード導入

秋田市は、市内の路線バスや秋田空港リムジンバスの運賃支払いに、首都圏などでも使える交通系ICカードの導入を進めることを明らかにした。導入は県内初となる。民間委託しているマイタウン・バスや中心市街地循環バスも対象となる。2021年春の運用開始を目指す。

1.24◇農業共済組合、合併へ

秋田県農業共済組合（秋田市）と由利農業共済組合（由利本荘市）は、6月1日の合併に向けた予備契約に調印した。組合員は約6万人となり、組織のない大潟村を除く県内すべての市町村をカバーする。全国では1県1組合化が進められており、東北では最後発となる。

1.28◇本州最北の岩ガキ養殖

外食チェーンのドリームリンク（秋田市）と男鹿市、カキ養殖会社の川崎水産（広島県廿日市市）は、男鹿市の戸賀湾で岩ガキの養殖実証試験事業に取り組んでいると発表した。実験が成功すれば、本州最北の養殖岩ガキとなる。2021年夏の初出荷を目指す。